

1. 件名：「志賀原子力発電所2号機の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（40）」

2. 日時：令和2年7月1日（水）13時30分～14時51分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、田上上席安全審査官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、菅谷技術研究調査官、南雲係員

北陸電力株式会社：執行役員 小田土木建築部長 他8名（テレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について 敷地内断層の活動性評価（コメント回答）
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について 補足資料
- ・ 志賀原子力発電所 2号炉 適合性審査コメントリスト【地質関係】

| 時間 | 自動文字起こし結果 |
|---------|--|
| 0:00:02 | はい。 |
| 0:00:05 | それとタニです。それでは時間になりましたので、志賀原子力発電所 2 号炉敷地の地質地質構造についてということで、 |
| 0:00:16 | 敷地内の断層の活動性評価、 |
| 0:00:19 | 前回のヒアリングから |
| 0:00:22 | 修正点を |
| 0:00:24 | 主に説明したとしていただいてそれから質疑に入りたいと思いますので、まず説明の方、よろしくお願いいたします。 |
| 0:00:34 | はい、北陸電力の藤田です。本日 2 回目のヒアリングからの修正点を中心に簡潔にまず御説明したいと思います。 |
| 0:00:43 | 資料ですが、2 回目以降、本資料と補足資料に修正がございます。 |
| 0:00:49 | データ集等コメント一覧に修正はございません。 |
| 0:00:53 | 資料は事前に現センターで送付してございますけども、 |
| 0:00:57 | 修正箇所を抜粋した資料と修正箇所を反映したフルバージョンの 2 種類ありますけれども、今回の説明は修正箇所の抜粋版を用いて行いたいと思います。よろしくお願いいたします。 |
| 0:01:10 | 修正箇所の一覧表も即しておりますが、その中の表現の適正化等の説明は割愛しまして、技術的な修正点に絞って担当の方から 10 分程度で御説明したいと思います。それではよろしくお願いいたします。 |
| 0:01:33 | 北陸電力のニシモトです。 |
| 0:01:37 | まず本資料の 8 ページをご覧ください。 |
| 0:01:45 | 活動性評価結果の一覧表の右上にバーの凡例がございます。前回のヒアリングでは確認されないとしておりましたが、所わかりにくい表現でしたので、該当なしに変更しております。 |
| 0:02:00 | 次に 30 億ページをご覧ください。 |
| 0:02:08 | The 普通分析結果ですけれども、説明性向上のために、スメクタイトとイライトの構造図を追加しまして、グラフの緑線の敷地の粘土鉱物の関数と赤線のイライトの関数が類似するとした根拠を加筆しております。 |
| 0:02:25 | 次の 37 ページお願いします。 |
| 0:02:30 | ここでは配列土手無観察におけるスメクタイトとイライトの単位その測定方法とその根拠右下に追加しております。 |
| 0:02:39 | 次に 43 ページをご覧ください。 |
| 0:02:47 | 43 ページに、IS 今後相当/RCT で次の 44 ページにフィリップサイトの生成温度や生成機関等に関する文献調査結果を追加しました。 |

| | |
|---------|---|
| 0:02:59 | これらの文献は前回のヒアリングでは、補足資料に示しておりましたが、変質鉱物の生成温度環境の説明において、本資料に記載したほうがより説明性が上がると判断しまして、今回、新たな文献を追加し、本資料に記載することとしました。 |
| 0:03:16 | これらの文献によると、IS今後槽は地下深部で生成した場合は 50 度以上、 |
| 0:03:22 | 発生によって生成した場合は 110 度以上で生成することが示され、／RCPは値 450 度以上の地下深部で生成されフィリップサイトは資本約 50 度以上の地下深部もしくは熱水によって生成されることが示されています。 |
| 0:03:40 | 例えば 43 ページの右上のグラフで示すスメクタイトのイライトかの変質速度に関する知見では、 |
| 0:03:48 | 少し見づらいですけれども、ひし形の凡例で示す温度 50 度では、数十万年が経過しても、イライト化が進行しないとされておりまして、 |
| 0:03:59 | 次に 46 ページをご覧ください。 |
| 0:04:08 | 前回のヒアリングで左の文献の表に示す地点、地点①の深度がバーになっておりまして、何か情報はないかというコメントがございました。 |
| 0:04:19 | 今回この一覧表の中で比較的温度が高く、敷地に近い地点①の地点⑨の温泉所有者から温泉掘削時の温度検層データを入手できましたので、次の 47 ページに、 |
| 0:04:35 | 敷地の地温分布を対比する形でデータを追加しております。 |
| 0:04:41 | 次に 66 ページをご覧ください。 |
| 0:04:50 | 2 で確認された／RCTのEPMA分析結果です。 |
| 0:04:55 | 上段の真ん中に示すSiO ₂ のEPMAマッピングにおいて白い色で着色された／RCTが最新ゾーン全体を横断している様子が見えるかと思いますが、前回のヒアリングで最新面を横断しているかどうかまではよくわからないという御指摘がございましたので、 |
| 0:05:14 | 次の 67 ページに、この拡大写真を示しまして、／RCPが最新面を横断している様子が確認できる資料を新たに追加しました。 |
| 0:05:26 | 次に、363 ページをご覧ください。 |
| 0:05:30 | 363 ページです。 |
| 0:05:40 | S4 の活動性評価に用いている 35 円盤トレンチの堆積物とその周辺に分布する 35 円盤の裏面の堆積物が一連の堆積物であるとした根拠として、実質利益の性状を比較した右上の。 |
| 0:05:56 | 表や堆積物の拡大写真を追加しました。 |
| 0:06:01 | 以上が 2 回目のヒアリング資料からの追加と主な変更箇所になります。 |

| | |
|---------|--|
| 0:06:07 | このほかに、今回の追加変更に伴う記載の適正化や関連する補足資料についてもあわせて修正を行っております。 |
| 0:06:16 | 資料の説明は以上です。 |
| 0:06:25 | はい、ありがとうございました。それでは質疑応答に |
| 0:06:29 | ます。 |
| 0:06:32 | 私のほうからちょっと新しく追加していただいた資料なんですけど、46 ページ。 |
| 0:06:43 | これ進路とかが前原だったところが、 |
| 0:06:48 | 幾つかデータが増えたんだよというところなんですけど、これは結局今の場で残ってる例えば 13-Part 受⑬地点で深度が倍になってるようなところ、これ。 |
| 0:07:01 | 地表なんですけど、これはわからないっていう意味なんですか。 |
| 0:07:07 | 北陸電力のタカザワですけども、ここの 46 ページに示してあるのはあくまでも文献に書いてあるこのフジタ倉さんが調査した結果を書いてあって、これについてはやっぱり文献ではこれわからないとされてまして。 |
| 0:07:22 | 今回確認したのが敷地付近の①とか⑨につきまして少し以降のものについて所有者の方に確認したということで、少し離れているこの⑬の枕無線等についてはあくまでも文献でわからないということでそのままの記載というふうにしております。 |
| 0:07:45 | はい、ありがとうございます。事実関係よく起こりました。 |
| 0:07:49 | つまりは①と壊れ等、 |
| 0:07:53 | 丸久か。 |
| 0:07:55 | 丸久本社から独自で調査しているからこの 47 ページのようなデータがあるんだよっていうことで、あくまでこの 46 ページの表っていうのは、フジタ庫。 |
| 0:08:06 | 今も |
| 0:08:07 | 記載がそのまま載ってるんだっていう理解でいいですか。 |
| 0:08:11 | はい、北陸電力のタカダですけどその認識でよろしいですはい。 |
| 0:08:15 | ありがとうございます。 |
| 0:08:19 | そのてですね、363 ページ。 |
| 0:08:24 | これらの 35 メーターバーのトレンチ等、 |
| 0:08:28 | その界面の法面の掘削、 |
| 0:08:34 | 法面ですね。 |
| 0:08:35 | これも堆積物の性状を比較していただいたんですけど、ちょっと私はもう |
| 0:08:43 | 気になったのが中の |
| 0:08:46 | できテンションを比較するとき、 |
| 0:08:51 | 結構採用したときがすごくなかったんですよここ確か 10 資料とかそういうすみません、ページが出てこないんですけど。 |

| | |
|---------|---|
| 0:09:00 | それはこの写真を見ると、 |
| 0:09:03 | 電気がこうとれないような状況だから少ないんですかその辺ちょっと、まず |
| 0:09:10 | 資料が少ないのかって言うのをちょっと教えてもらえますか。 |
| 0:09:16 | はい、北陸電力キムラです。363 ページのほうに |
| 0:09:23 | 35m盤の裏面とトレンチの 2 ヶ所のエレキの写真載せてございますけども、 |
| 0:09:30 | こちら高位段丘 I 面、 |
| 0:09:34 | 付近に位置しております、やっぱり風化はかなり進んでおりまして、 |
| 0:09:42 | 小さいでき |
| 0:09:46 | 代替系が 5cm 以下の歴につきましては、風化が 1 位とするかによって、この できんの形をそのまま保ったまま取り出すということがなかなか難しいの で、今回、この |
| 0:10:05 | 歴の形状の分析に当たりましては、ある程度大きいできを採取して、それで継 続を行ったということになります。したがって、 |
| 0:10:20 | 先ほど、 |
| 0:10:22 | サンプルの個数、 |
| 0:10:24 | ですけども。 |
| 0:10:33 | 網悪安重 6 ですね、336 ページ。 |
| 0:10:38 | 古いほうの資料では、3 ページ。 |
| 0:10:48 | どうぞ。 |
| 0:10:51 | 331 |
| 0:10:55 | 331 ですね、前回の資料で言いますと 331 ページ。 |
| 0:11:01 | で、右側の凡例のほうに 35m 盤トレンチが 10 個。 |
| 0:11:13 | 358 ページのほうがいいですね、358 ページ。 |
| 0:11:23 | はい。 |
| 0:11:28 | 前前の資料の 358 ページで、 |
| 0:11:34 | 今の数量だと。 |
| 0:11:40 | 364 |
| 0:11:44 | はい。 |
| 0:11:51 | で、右の凡例のほうにサンプルの個数を括弧書きで数字で記載してますけど も、35m 盤。 |
| 0:12:00 | 法面では 31 校、 |
| 0:12:03 | で、35m 盤トレンチでは 10 校と。 |
| 0:12:06 | これは |
| 0:12:08 | そういった |
| 0:12:11 | ずっと |

| | |
|---------|---|
| 0:12:13 | 利益の風化ん。 |
| 0:12:16 | を考慮してある程度大きなできを選んだということで、この個数が、それだけの個数集まったということでございます。 |
| 0:12:29 | はい。 |
| 0:12:34 | 規制庁タニです。状況は起こりもしと。 |
| 0:12:40 | うん写真をね今回見さしてもらって確かに。うん。この |
| 0:12:47 | 説明が得られて細粒化しているとか、 |
| 0:12:51 | うん。 |
| 0:12:53 | 確かおっしゃってることがわかってきたんですけど。 |
| 0:12:58 | 何ていうんですかね、今の説明っていうのは、やっぱりちょっと |
| 0:13:03 | 何か。 |
| 0:13:04 | なぜこれだけここをこの比べるところだけこんなに少ないのかって言うのはなんでかかってこう見てて疑問に思うので、説明を加えたらいいのかなというふうに思っています。 |
| 0:13:18 | あと、何ていうんですかね、これ今回 363 ページに出てるんですけど、これ。 |
| 0:13:28 | 何か閉まっているんだとかですね、ファンクサリ劣化しているという、こういったことをですね。なんか定量化 |
| 0:13:38 | 定量的にこう何か示すようなデータっていうのは、 |
| 0:13:42 | 取っていない。 |
| 0:13:44 | ということでもいいですか。 |
| 0:13:50 | 北陸電力の木村です。締まりの程度、 |
| 0:13:54 | とか風化の程度、クサリ具合と言いますのは、 |
| 0:14:02 | 副Hー大野地帯によりますけども、こちらで定性的ではあるんですけども、 |
| 0:14:15 | 強い支圧でわずかに跡が残るだけですとか、 |
| 0:14:20 | そういった |
| 0:14:24 | 観察者が現場で |
| 0:14:28 | たかったようなそういう記載をそのままこちらの 363 ページの表のほうにまとめているというものでございます。 |
| 0:14:43 | はい、以上でございます。 |
| 0:14:46 | うん。そうですね。 |
| 0:14:48 | この確かにこの 4 月で跡が残らない。 |
| 0:14:55 | とかですね、4 月の 1 個半固結しているとの記載はあるんですけど、これって何ですかねそのいちいち段丘堆積物ではないような、例えば斜面の堆積物だとか、もうちょっと新しい時代の堆積物が明らかにこの辺の締まり超えて違うもんなんですか。 |

| | |
|---------|---|
| 0:15:14 | 僕はわかる範囲で教えてもらえたら。 |
| 0:15:18 | はい、北陸電力キムラです。これ段丘堆積物ではなくて、斜面堆積物ですか、河川の堆積物ですいたしたりしますと、やはり締まりの程度といったもう少し、 |
| 0:15:34 | いろいろといますか。 |
| 0:15:36 | そういった記載になっていると思います。 |
| 0:15:42 | はい。 |
| 0:15:43 | ありがとうございます。ちょっとその辺も私も確認しておきます。 |
| 0:15:52 | もう正しい |
| 0:15:56 | 明日説明金額とこです。 |
| 0:16:02 | はい。 |
| 0:16:06 | はい、高見です。今日のもんじゅされてして、 |
| 0:16:15 | ちょっと口頭で |
| 0:16:17 | さっと説明されてるんで、他なかったんですけど。 |
| 0:16:22 | この右下の図で 55 のところで、10 万年以上かかるっていうのは、ということ。 |
| 0:16:30 | これ文章に書いてあるのかもしれないけど、もう 1 回構築教えていただけますか。 |
| 0:16:40 | はい、北陸電力のウナミです。 |
| 0:16:43 | 43 ページの右下の試験ですね。 |
| 0:16:47 | 可能行き 83 というところで、今こちらにつきましては、 dCT の反応速度論的な考察を行いまして、 |
| 0:17:00 | 温度更には生成期間、そして dCT の Dt ①ということで、いわゆる面間隔どれぐらい |
| 0:17:11 | 高温でしまってきたかという程度ですけれども、そういった関係を反応速度論的に実際に計算をして行っている文献であります。今敷地の場合は、 |
| 0:17:23 | 資料でいきますと 39 ページお願いします。 |
| 0:17:27 | 今回皮下の組織図において認められる γ CTですけれども、日が 1①の感覚は 4.11 程度というところになってございます。 |
| 0:17:42 | そうしたところを踏まえまして、43 ページの図を追っていただきまして、今 4.11、緑の線で加筆を加えてございますけれども、この線が齒科にいわゆる対応するだろうというふうに考えています。 |
| 0:17:58 | ねそこで今 50° と仮に仮定した場合には、 |
| 0:18:03 | その年数ですね、横軸の年数に相当するところが数十万年程度。 |

| | |
|---------|---|
| 0:18:09 | 50 のであれば数十万年に要するだろうということで、約 50 度で生成する場合には通じ万年の期間を要するということが示されているというふうに文章として記載しております。 |
| 0:18:24 | そしてこの文献から名 50 度で数十万ということとともに、もし仮に 50° よりも、 |
| 0:18:34 | 温度が低い場合には麺数がもう少し右に行きますので、さらに年。 |
| 0:18:42 | 年月を要するというふうな解釈よう文献からしております。以上です。 |
| 0:18:52 | タガミです。はい、御説明は理解できました。 |
| 0:18:57 | それから、この |
| 0:18:59 | 続けて 47 ページ。 |
| 0:19:07 | この確認なんですけど、赤線のAT合っせん 6 項っていうのはこのままの示されたボーリング孔Z御社がとられたって温度のデータだと思うんですけど、まず 1.09 地点っていうのは、 |
| 0:19:24 | これもおる勝訴というされたんですかそれとも |
| 0:19:28 | 僕からデータを |
| 0:19:29 | 運用してるっていうことなんですか。 |
| 0:19:33 | 北陸電力のタカザワですけども、赤線は当社でやったものですけども、①と⑨につきましては、①であればと三町とか温泉所有者ですね、⑨であればまた別のホテルの |
| 0:19:50 | 音声になるんですけども、その所有者の行からのデータを入手しましてで温度勾配が確認できる場所振動温度について、これを当社の方でプロットしたということで、もとデータにつきましては当社ではなくて温泉所有者のデータとなります。 |
| 0:20:09 | 以上です。 |
| 0:20:11 | 多分ですね。 |
| 0:20:12 | 一応の目のために聞いてきますけどここは公開するっていうことは |
| 0:20:18 | この承諾いただけてるのかっていうの当期やっぱりTBPようであればそれがわかるように書いとかなないと思うんですけど、どうなんですか。 |
| 0:20:27 | 北陸電力のタカダですけども、このデータを審査資料に使うという部分については了解はいただいておりますので、引用についてもちょっと追記して示しておきたいと思います。 |
| 0:20:42 | はい、じゃあその点をお願いします。ほ 67 ページ。 |
| 0:20:51 | 67 ページで、今日御説明があったら最新面というところをRCPBと考えられる額が横断している状況っていうのが、ここで認められてるっていう今右下のあの拡大図のようなところを言われてるか。 |

| | |
|---------|--|
| 0:21:07 | 理解しました区をこの前聞いたかもしれないという、そこをこのCTの脈自体は最終日より左側のせん断面のようなところで、ギャップがあるっていうか、右横ずれに |
| 0:21:22 | というように見えるんですけど、九重ってどう評価したんですか。 |
| 0:21:30 | はい、北陸電力のメモリです。 |
| 0:21:33 | 今程おっしゃられたところというのがこの |
| 0:21:38 | この部分のことを実施をされているのかなというふうに思うんですけども。 |
| 0:21:42 | こちらですかね。 |
| 0:21:45 | そこです。こちらのことですとこのように、この |
| 0:21:51 | 最新面と平行な、当面といいますかこういう構造というのは幾つもの設定の中にあるんですが、ここに関して言えば、下のほうにたどっていきますと、こちらのほうに同じように/RCTの脈が混在してございます。こちらを拡大して観察していますと、ずれ変形等ございません。 |
| 0:22:09 | このように、下のほうに連続していくと、変位変形がないところが確認できておりますので、今ほどのこのずれのように見える場所については、もともとあった構造にそのする割れ目を埋めるように/RCTが生成したとこのように解釈してございます。以上です。 |
| 0:22:26 | はい。多分です。 |
| 0:22:28 | その時間関係を整理して、 |
| 0:22:32 | 整理していたいと思うんですけど、そういう意味で書いてある最新面っていうのは、その脈自体はずらしてないと。でも私が今指摘したずらしてるとしたら、ここ押し確認なんですけど、緑の最新面よりも、その左側の |
| 0:22:50 | せん断面の方が新しいと考えていないんですか。 |
| 0:23:00 | 北陸電力のタカザワですけど、ちょっと事実関係言いますと、今この切られてるように見えるところにつきましても、その割れ目に沿って薄いんですけども同じようにbarCTと思われるものが入り込んでまして。 |
| 0:23:16 | どちらかという、この面につきましてももともとあった断層面でそれに沿って/RCPがブククって行って、一部求まった断層面を使って、このように切れているように見えるということで、技術関係としてはパールCTが切られている時代というのは、 |
| 0:23:35 | 我々のほうでは観察結果に基づくと、ないというふうに考えてございます。 |
| 0:23:42 | 以上です。 |
| 0:23:46 | 多分ですね。一応念のため、こういう理解でいいかということなんですけど、要は私が言ってる左側のせん断面っていうのがまずあった後に起こるCTの100っていうのが、 |

| | |
|---------|---|
| 0:24:04 | なくっているのかなと僕はCTとしてるところとか、そのせん断面にも沿うように入ってるってそういうことをおっしゃりたいんでしょうか。 |
| 0:24:14 | はい、北陸電力のタカザワですけど、そういう理解でよろしくて、実際もう少し薄片拡大した前回のページ数で言いますと、その後ろに観察関係のデータ載ってますけども、 |
| 0:24:29 | 薄片で今副校長 |
| 0:24:33 | あとbar67 ページ。 |
| 0:24:38 | ロッカー前回の資料の 67 ページの範囲Bとか、 |
| 0:24:43 | 取っていただきますと、 |
| 0:24:46 | 今のページと 71 ページですね。 |
| 0:24:53 | 見ていただきますと、ここも例えばその範囲でいって左下の直交ニコル見るとわかるんですけども、ここも同じように左のほうへ行くと少し縦に黒い線が見えるところあるんですけども、こういうふうになんかやぱりその過去の構造が残ってますのでこういうところに細かく／。 |
| 0:25:13 | CTというものが入り込んでいたというのが確認されたということで、先ほどのような今解釈をしているということでございます。 |
| 0:25:23 | はい。以上です。 |
| 0:25:29 | 多分ですね、サービス名内容は承りました。あとですね、最初に聞いた 43 ページの話もちょっと戻ってすみませんが、13 ページで、先ほど御説明旅行重度に仮に設定する。 |
| 0:25:47 | これももし仮に 50° より高かった場合は当然これは生成の期間というのをもっと短くなると、今、そういうふうな理解でいいですかね。 |
| 0:25:59 | 保育電力のタカザワですけども、そのような理解でよろしくて、50° より高いと時時間としては短いんですけどもグラフを見ますと例えば 100 度、 |
| 0:26:12 | 1 万年ぐらいの期間であれば 100 度が 1 万年間このナイトウができないというふうな感じで、高温だと高温でも任せよう時間についてはけくない感覚で必要だというふうに解釈してございます。 |
| 0:26:27 | はい。以上です。 |
| 0:26:29 | 多分ですね。わかりました。 |
| 0:26:33 | これ、 |
| 0:26:36 | はい。 |
| 0:26:42 | それから味噌水田さっきの要員について、 |
| 0:26:46 | あるんですけど、これは原子力発電環境整備機構というのはこれは、 |
| 0:26:52 | えっと圧力はもう、地表での圧力ということで、 |
| 0:26:55 | その研究で行ってですか。 |

| | |
|---------|--|
| 0:27:00 | はい、北陸電力のウナミです。こちらの上の原子力発電環境機構のもととなった論文ですけども。 |
| 0:27:11 | 左に表がありまして原子力発電環境整備機構の部分の一つ目のaポツですね、のところで運用されているもとの文系ですね変わらんと2000というものですけど。 |
| 0:27:27 | こちらがベースになってございますのでこちらにつきましては、実験ですね実験環境課は出られたって言ったさらには |
| 0:27:39 | 実際にその地層処分場のところで得られた温度のデータでそういったものを考慮して計算をまわしているというところで、圧力の要素が入ってないという理解でいいです。以上です。 |
| 0:28:02 | ちょっと私の理解が進む中、圧力の要素が入ってないっていうのはもう1気圧でやってるっていうこといいんですか。 |
| 0:28:14 | そうですね実際に用いてるデータですね、どの混同ガードの診断に分布してるんだとかそういったデータには温度が圧力が関係してるのかもしれないんですけども、この実際にまわしている計算自体には圧力の |
| 0:28:31 | 様相は入ってないというところになります。 |
| 0:28:37 | 北陸電力のタカザワですけど、補足しますと、この吉村さんもそうなんですけれどもこういう各種文献見ますと、温度と時間に関してはこのようなグラフの関係ができるというふうな形で、 |
| 0:28:53 | 各種研究者さんがこのようなグラフ出してるんですけども、あの圧力の依存っていうのはこういう文献それぞれに見ますと低いというふうに書いてありまして、基本的には時間と温度ということで、このようなグラフというのが一般的にこういう文献のほうで示されていると。 |
| 0:29:12 | いう状況であります。 |
| 0:29:15 | 以上です。 |
| 0:29:17 | はい、確認できましてありがとうございました。 |
| 0:29:25 | やっぱ全体の |
| 0:29:32 | 今回追加で説明していただいた内容については、とりあえずここまでの確認をしてですね、全体の話についてまたちょっと |
| 0:29:45 | 前回の資料の確認とか、 |
| 0:29:47 | 戻りながら確認をしていきたいと思います。まず私はタニからなんですけど。 |
| 0:29:55 | そうですね。 |
| 0:29:58 | 今回の |
| 0:30:01 | 当資料の構成で物性値で評価に使ってた検定左岸トレンチ、これはもう |

| | |
|---------|---|
| 0:30:10 | 活動性評価の根拠として用いないということが、14 ページ等とか、その他にも書かれてるんですけども、 |
| 0:30:19 | これって結局、 |
| 0:30:22 | 御社としてここ考えるとですね、はっきりしておきたいんですけど。 |
| 0:30:27 | 堆積物は十二、三万年以前に堆積したと考えているんだよと。 |
| 0:30:34 | でもそれは、 |
| 0:30:38 | 改正の堆積物じゃないっていう整理になったのか、改正堆積物だと思うんだけども、 |
| 0:30:47 | それから見切れないというような考えなのか、その辺ちょっとどう、どういう考えで今、評価から外したのかっていうのももちろん今書かれてるんだっただここに書かれていますということで、 |
| 0:31:02 | 説明していただきたいんですけどよろしいですか。 |
| 0:31:06 | はい、北陸電力キムラです。前回の資料の 330 ページ。 |
| 0:31:13 | お願いします。 |
| 0:31:25 | 露頭観察結果って、各地点のできの形状ですとかその他の産状を表でまとめたようなページですけども、 |
| 0:31:37 | ここで検定左岸トレンチのほうを見ますと、 |
| 0:31:41 | これまで堰堤左岸トレンチっていうのは、石英粒子を含むということから、改正堆積物というふうに判断してたんですけども。 |
| 0:31:51 | 画面出ますでしょうかね。 |
| 0:31:56 | そういう。 |
| 0:31:59 | 歴の形状を見ますと、他の改正堆積物と判断した地点に比べて少し角れきが多いと。 |
| 0:32:15 | 陸成堆積物と明確な差異が認められなかったということから、改正堆積物であるという証拠が |
| 0:32:26 | 明確な証拠が得られなかったので、今回改正堆積物としては扱わないこととしたというふうにこちらのほうに上の四角の 3 丸めですけども、こういうふうに記載をしております。 |
| 0:32:42 | はい。以上です。 |
| 0:32:46 | 北陸電力のハマダで少し補足させていただきますと、今の記載としては、今木村が説明したように改正段丘堆積物として扱わないということとしたんですけども、先ほどの第 3 の |
| 0:33:01 | 質問の趣旨からいいますと、我々としては開成堆積物の可能性もあるというふうには考えておりますけども、今、キムラが申しましたように、今回その基準として、 |

| | |
|---------|--|
| 0:33:18 | 確実なものとしていえることができなかつたので、改正堆積物としては扱わないということにしております。あとまたですね。堰堤沢の位置がですね、旧汀線のすぐそばで |
| 0:33:33 | あるということで、もともと場所からしてですね、いわゆる典型的な改正堆積物がもともと堆積するような場所ではありませんので、まあそういうことも考慮しまして、当初改正堆積物というふうにしておりましたけども、 |
| 0:33:52 | 今回はそこまで明確に言い切れないということで、先ほどのような表現としております。以上です。 |
| 0:34:09 | はい。大体わかりました出戸つまり別にこれは陸成堆積物の方に特徴が近いんだとかそうそう。そういうことまでも言ってなくて、あくまで御社としては、 |
| 0:34:24 | それも改正堆積物のほうが可能性としてはあるんだけれども、評価に用いないって言うだけだということでもいいんですか。 |
| 0:34:35 | 北陸電力キムラですね、そういった御認識でよろしいかと思えます。 |
| 0:34:40 | はい、わかりました。つまりなんかを、例えばお金も出向だとかをこうしたらまだ改正堆積物っていうのが証明できるような可能性も残してるんだけど、今回はそこまでやらないよってということで、 |
| 0:34:55 | 整理しておきます。 |
| 0:35:04 | アプライド単体のこれ。 |
| 0:35:08 | それぞれのかなという |
| 0:35:11 | すいません規制庁ナイトウですけれども、全体の設計方針ですけれども、活動性評価で鉱物脈として使うのはイライトスメクタイト混合層等碎屑岩脈等／BCP等フィリップサイトこの揚水を全部使う。 |
| 0:35:29 | ことでいい。 |
| 0:35:34 | 北陸電力のタカザワですけれども、その4周囲を使うということで、はい、よろしいです。 |
| 0:35:41 | えっとね、今回は改良と言った8ページなんて部長よくわかんないんだけど、基本的にこっつて同じ会派室で同じ環境で作られたというのが大石さんの主張のはずなんだけれども、 |
| 0:35:59 | なんだけれど、海のほうに行くと、イライトスメクタイトがなかなか出てこないと考えて、 |
| 0:36:09 | 北陸電力のタカザワですけれども見に行くと、あまりイライトスメクタイトが出てこないわけではなくてですね、前回海の活動を選定のほうの審査会合でXRD分析させていただきましたけども、 |
| 0:36:25 | 海にも経費率の断層にも同じように、これ情報しかやってないんでまあスメクタイトなってるんですけども、というような形で、海のほうにもイライトスメクタイト混合層、 |

| | |
|---------|--|
| 0:36:38 | 今出てるとあってまして、実際ですね、前のページでいきますと、変質鉱物についてまとめた形で 24 ページ、5 日 24 ページと 24 ページ。 |
| 0:36:53 | 見ていただきますと、 |
| 0:36:55 | 前回の 24 ページにはXRDの濃集で 25 ページにはEPMA分析ということで、ここにもKシリーズの今回評価対象断層としてます。kAに時計事業について、 |
| 0:37:10 | 燃料物確認しますと、これ同じように、 |
| 0:37:15 | is混合層ってということが確認できていて、あと実際ですね比率も 29 ページと 30 ページのほうにそれぞれプロットしてまとめておりますけども、他の様と同じような混合率で確認されているということから、 |
| 0:37:33 | 海にも同じように、is今後そうはできているというふうに考えてございます。 |
| 0:37:39 | その中で今回/RCPとかフィリップサイトというところで書いてあるんですけども、この鉱物脈として海のほうでは明確にそういうちょっと別の鉱物で/RCPとかフィリップサイトが出てきましたのでそちらのほうにより明確に 5 談してる部分もありましたので、 |
| 0:37:59 | こういう観点で今/RCT件については、RCTでやってますし、形状についてはisに加えて、フィリップサイトでもそういう状況が確認できたということで 8 ページのように整理してございます。 |
| 0:38:13 | 以上です。 |
| 0:38:18 | 説明ですけども、ポンポンとEPMAとか分析する結果としては、すべての 2 オダじょうな同じようにイライトとスメクタイト混合層が生じているんだけど、 |
| 0:38:34 | /Cと仮想使ってるやつ複雑化っていうのは、 |
| 0:38:39 | 脈としてっていうものが見当たらないのでこっちを使うということで、 |
| 0:38:46 | はい。その通りで明確に横断しているものとして今回のRCP等を利用しております。はい。 |
| 0:39:00 | まず、 |
| 0:39:02 | これは 191 ページ。 |
| 0:39:06 | 私も、 |
| 0:39:14 | それとも何かさっきの関連項目 291 ページ前の資料で |
| 0:39:19 | すいませんタニです。 |
| 0:39:22 | 211 ページで生成順序みたいな考察の |
| 0:39:26 | 形成プロセスっていうふうにまとめていると思うんですけど。 |
| 0:39:31 | つまり |
| 0:39:34 | ですよ。ISS/RCTフィリップサイト碎屑岩脈で直接薄片で見えているのがこの矢印が |
| 0:39:44 | 実線の矢印が直接確認できて、正しいIS本相当とRCPの関係だけは、 |

| | |
|---------|---|
| 0:39:54 | 酸素同位体比分析による検討でisのほう、IS今後そのバツフル板だろうというふうな |
| 0:40:04 | 考えになってるっていうまずここへですか。 |
| 0:40:09 | 北陸電力のタカザワですけども。はい。そのような認識でよくて、このパールCT等IS放送の関係については、これ 200 機器前回 294。 |
| 0:40:21 | 来ません 293 ページですけども、たまたまRCPBできているところについてはちょっとISっていうのは確認できなくテーマ設定フライト随時状況になってたので、isとパールPTの関係についてはこの炭素薄片観察ではなくて酸素同位体比分析 |
| 0:40:40 | による検討で新旧関係を確認しているという状況で行って欲しいです。 |
| 0:40:47 | はい。 |
| 0:40:51 | 文言かちょっと効率をちょうど聞いたかったところなんですけど、293 ページで、 |
| 0:40:57 | 断層活動があつて、これちょっと細かく限定 |
| 0:41:03 | is混合層も行うCTも両方見えてるわけなんですけども、 |
| 0:41:10 | それはポロシティの方に入ってきたという意味でないのは、もう一度、もう1回教えてもらってるんですけど |
| 0:41:18 | 北陸電力のタカザワですけども、293 少し見ていただくとですね、真ん中の模式図の緑の部分なんですけども、ここについては、この白いところ、左の薄片レート白っぽくなっている兆候にコールの部分につきまして、 |
| 0:41:37 | XRD分析しますとこの鉱物っていうのがis混合層ではなくてここについてはセピオライトと。 |
| 0:41:45 | いうふうな形で |
| 0:41:48 | 出ていましたので、ここについてはIS統パールの関係は変わらなくてですね、ISとセピオライトで、isのほうが石油ドライISやIRCTの方が結局ぐらいというよりも新しいことがわかったということで、直接IS統パルスPTのことを確認できていないので、 |
| 0:42:08 | ここについては先ほど 291 のように、薄片観察という結果で記載することはできなかつたということで酸素同位体比を用いたという形でございます。 |
| 0:42:21 | 加入する技術根拠ということなんです、 |
| 0:42:24 | 僕は思ったのは水封ライトの周りにも、 |
| 0:42:29 | IS混合層っていうのは、 |
| 0:42:33 | あるんじゃないかなと思ったりしたんですけど。 |
| 0:42:38 | 北陸電、 |
| 0:42:40 | いいですか。はい。思います。 |

| | |
|---------|--|
| 0:42:43 | 北陸電力のタカザワですけども、確かにタニさんおっしゃられるように、周り広い周りが褐色系の年度になってございますので、これについては他の観察事実から言いますとこれまですべてこういうのがEsでしたので、is |
| 0:43:00 | 特定でその間にセピオライトはこの広く脈状に配線とかも含めて入っているので、そういうふうな理解はしているんですけども、ここちょっと直接今回まだ分析してなかったんで、これについてはちょっと新旧についてはフレーズにあくまでもこの最新透明くさび分析したセピオライトと。 |
| 0:43:20 | 青<RTPT>の関係までに記載を留めているという状況でございます。 |
| 0:43:27 | 以上です。 |
| 0:43:28 | ほか、よく起こりましたので、要するに |
| 0:43:32 | そうかもしれないけど証拠がないからちょっと今のところ言えなくて、なおかつとその周りの僕はISSのようなものって言ったものについてはISAでもないかもしれないし、スメクタイトと。 |
| 0:43:45 | かもしれないしとかそういう理屈でまだはっきり決めれないということでもいいんですかね。 |
| 0:43:52 | 私の理解が合ってますか。 |
| 0:43:55 | はい、北陸電力のタカザワですけども廃掃そのあたり、まだちょっとですね、分析が追いついてない部分もありましてそこについてはまた確認できましたら、そこはまたお示したいというふうに考えてございます。 |
| 0:44:11 | これ明日 |
| 0:44:13 | ちなみに、つまり 291 の |
| 0:44:18 | 291 ページの絵を見ると、 |
| 0:44:21 | この生成順序っていうのを考えると、 |
| 0:44:29 | つまりはここで言ってるのは、 |
| 0:44:31 | IS混合層はフィリップサイトよりも高温でできた高温と温度の関係っていう観点もここで説明されてるんですかそれともただ単に、その温度とかはちょっと置いて観察事実だけの話をしているのか。 |
| 0:44:47 | ちょっとこの |
| 0:44:49 | 要するにこのこの世もってして、IS今後そのフィリップサイトができたときのRCPからできたときよりも高温だったっていうような絵なのか、そうではないのかちょっと教えてください。 |
| 0:45:02 | 当北陸電力のタカザワですけども、こう高温だったっていうことは最初のほうの前段でちょっと先ほど文系のほうの資料を示してましたけれども今回は思ってるんですけども、その明確な温度たいっていうのが両方がISSも |

| | |
|---------|--|
| 0:45:19 | フィリップサイトもまあ同じような言葉でもできる可能性もあるので、ここについては明確に薄片関係で確認できた実線で太く書いております。薄片関係を主体として、記載だと。 |
| 0:45:34 | いう趣旨としてはそういう趣旨で現状は記載しております。 |
| 0:45:39 | 以上 |
| 0:45:43 | そう。 |
| 0:45:54 | ですから、 |
| 0:45:59 | すべてのですけれども、結局これはあれでしょう、熱水変質のコアを中央無料って深部でできた可能性が富津も説明してるんだっていう |
| 0:46:12 | どっちできたと考えております。 |
| 0:46:17 | 北陸電力のタカダですけども、法務どっちかがですね明確には断言できなくてですね。 |
| 0:46:25 | 我々としてはやはり |
| 0:46:29 | 地下深部でできた可能性もありますし、熱水でできた可能性もあるというふうに考えてございます。ただし、いわゆる固結した破碎部、前回は前々回のご説明しましたけども、計算という個別した破碎部にはいわゆる深部でできた状況が |
| 0:46:48 | 認められますので、利か深部にある時期があったのは事実なんですけれどもそれに加えて熱水作用そこで受けたのか、そのままそこにある周辺の水が回ってきて、こういう鉱物が制定されたのかそこまでは判断できませんけども、 |
| 0:47:07 | いずれの可能性を考えても、前回ちょっとお示しましたけども地下深部であると6Maで少なくとも格子後期更新世以降はないと河成活動熱意であれば9Ma以前でそれ以降の活動はないというふうな形で可能性として両方検討して |
| 0:47:25 | 止めているという形でございます。 |
| 0:47:41 | すみません、規制庁なってるんですけども、そうするとね、去年二倍と進め異なるようわかんないけど、/RCTとかね、そういうのって圧力協研で、 |
| 0:47:52 | 鉱物で変わるのかわからない。 |
| 0:47:56 | いや、変わるとそういったその辺を調べてる調べたい。 |
| 0:48:08 | 圧力条件下北陸電力のタカザワですけども、もうちょっと先ほども言いましたけれども、その圧力で変わるというよりは、本土体で買われているふうに言われてまして、今度高い温度より深部になれば、玄海のページで言うと43ページが、 |
| 0:48:27 | わかりやすいんですけども、変質鉱物と震動温度体の関係を示してございますけども、 |

| | |
|---------|--|
| 0:48:39 | 結構ここで左は埋没深度って書いてあるんですけども、この吉村さんのほうにし、深度については利益を受けないという事で基本は温度体で考えればいいんですけどもそうするとまあ温度が高いと/RPTはまた席が変わっていったりだと。 |
| 0:48:57 | そういう状況ができるというふうに考えてございます。 |
| 0:49:02 | 以上です。 |
| 0:49:14 | えっとね。そうするとね、皆さんの今の説明だとRCTの約当深部では高圧条件でいくと、温度条件から採用されたけど、要は責任を取るとかいう話になると状RCT等席が今後質量層とかっていう、そういうのは見えているっていうふうな |
| 0:49:35 | 北陸電力のタカザワですけども明確に薄片で見えているという状況は確認できないんですけども、 |
| 0:49:45 | 3 展開っていう 39 ページの資料を見ていただきますと、 |
| 0:49:50 | XRDのチャートを見ますと、部分的に区大津っていうQTZっていうところが建っている部分があるんですけどもクサリ分析では一緒に出ているものもあるという程度で、 |
| 0:50:06 | なんで、石英が |
| 0:50:09 | 完全にできるようなそういう高温というのはもうちょっとやっぱり低い温度MAA PRCPから石英の間ぐらいの温度耐なのかなというふうに考えてございます。 |
| 0:50:20 | 以上です。 |
| 0:50:27 | ／2 です。これちょっと今の資料とあまり関係ないかもしれないんですけど、おっしゃってちょっと聞いときたいことのボーリングコアがあって、まず一番深いボーリングって何メートルの方です。 |
| 0:50:42 | 今答えは、北陸電力のタカザワですけども第費のボーリングでコアをとっているもので 1000 メーターちょっとですネ 1200 とかその程度まであります。 |
| 0:50:55 | ありがとうございます。1 本、 |
| 0:50:59 | ところがとして大深度ボーリング日本残ってるんですけど、一方カッティングすって言ってあんまり肥料としては最終結果できてないので、ちゃんとコアとして残っているのは一般大深度ボーリングが残っているという状況です。 |
| 0:51:14 | ありがとうございます。 |
| 0:51:16 | あとですね、これもちょっと資料に入れてないような内容なんですけど。 |
| 0:51:21 | あっ等、 |
| 0:51:23 | どこの |
| 0:51:25 | 海岸線沿い、もうちょっと広範囲で見たときに、 |
| 0:51:31 | こういったね。単価の変質脈みたいなのは、 |
| 0:51:36 | 時、例えばここ広域の高騰さみたいなもので、 |

| | |
|---------|--|
| 0:51:41 | 一般的にあるようなものなのか、或いは論文とかで、 |
| 0:51:47 | なんて言うんですかねこういった |
| 0:51:49 | 鉱物が、 |
| 0:51:51 | 見つかってるとかそういった知見があったりするものですか。 |
| 0:51:59 | 。 |
| 0:52:01 | 北陸電力の浜田です。周辺の調査で言いますと、あのサイトの北側のほうに、例えば口座がございまして、その周辺ですと石英脈というのがどう観察されているというものはあります。 |
| 0:52:19 | 以上です。 |
| 0:52:25 | 母岩が同じ穴水累層に石英脈が入ってたりとかするってことですか。 |
| 0:52:33 | ホクレンのハマダです。母岩は同じウナミT層の安山岩です。 |
| 0:52:40 | はい。以上です。 |
| 0:52:43 | あともう僕がすごくというような知見なんですけど、そこが聞きたかったのか海岸線沿いにね、例えば |
| 0:52:53 | K断層みたいなのか、ちょこちょこあったりして、その中には、まあまあなんか見えた目質問鉱物脈があるよとか、そういったことは、 |
| 0:53:05 | 確認は、 |
| 0:53:07 | されてないんですかね。 |
| 0:53:09 | そうですね。北陸電力のタカザワですけど、今ほど浜田が言ったのは大分サイトから北のほうで5km以上先の話なんですけどもサイト前面で海岸の露頭調査してますけども、ここではそのような明確なその変位鉱物っていうのは、確認されてない。 |
| 0:53:27 | 状況でございます。 |
| 0:53:30 | 以上です。 |
| 0:53:35 | ちょっと私の方もすごくぼやとしてるんで申し訳ないですけどそのサイトの前の海岸にね、K断層っていうのがちょこちょこあるよということで、そういった似たような断層っていうのは、サイトの前にだけ売るようなものなのかどうなのかっていうのと、もしその周りにも、 |
| 0:53:54 | 歩こう |
| 0:53:56 | もの物な何か同じような離隔見た目のようなものがあるのかないのか、ちょっと広い範囲で、 |
| 0:54:04 | 確認をされてないですか。北陸電力のタカザワですけども、大体斎藤を中心にですね南で言うと1kmぐらいできたでいうと、2kmぐらいですかね、回答させて頂いたことがあるんですけども。 |

| | |
|---------|--|
| 0:54:19 | ここでは今海岸部で確認されているような同じような、ああいう固結した性状を持った破碎部というのは、幾つもの同じような構造のものが幾つも確認できてます。ただし、やはりそこで確認される状況っていうのは敷地前面と同じで、 |
| 0:54:37 | そういう何か変な鉱物が入っているっていうよりはどちらかというと今前面でお示しました海岸部の断層と同じようなものがいくつか偏在しているという状況でございます。 |
| 0:54:52 | はいありがとうございました。事実行為。 |
| 0:54:55 | できました。 |
| 0:56:09 | ですから、気づく。 |
| 0:56:57 | ですから、 |
| 0:57:01 | 事故があった。 |
| 0:57:02 | そういう意味で、 |
| 0:57:07 | はい。 |
| 0:57:25 | すみません、タニです。 |
| 0:57:27 | なんかしつこいようなんですけど、深いボーリングが今 1200 メーターっていうのがあるんだっていう話を聞いたんですけど、何かそれについてですね例えば回ところで、 |
| 0:57:41 | なんかこう |
| 0:57:44 | ここで変わっていくだとかそういう検討はされてはいませんか。 |
| 0:57:58 | はい。 |
| 0:57:59 | ハマダです。大深度ボーリングにつきましては前回で以前ですね。カリウムアルゴン年代の分析の時にですね、年度を今で言う細いらとスメクタイト混合層だと思んですけども。 |
| 0:58:16 | この年代分析のために、幾つな回度か試料採取しておりますので、出しのボーリングにも新 |
| 0:58:26 | そういう今どういうイライトスメクタイト混合層と思われるものは確認しております。 |
| 0:58:32 | 以上です。 |
| 0:58:39 | ありがとうございます。なんかほら深さ方向にこう何かちょっと変わっていくんだよとか、まずそこまでは見てもない。 |
| 0:58:47 | こないだの中で過去に |
| 0:58:51 | あり余る申し立てそれどれぐらいの深さです。 |
| 0:59:00 | はい、北陸電力のウナミです。補足資料に母岩のカリウムアルゴンした結果を載せてございますので、そちらをご覧くださいたいんですけども。 |
| 0:59:11 | うんうん。実際にいきますと、 |

| | |
|---------|---|
| 0:59:18 | 5-2-1-6 ですね。 |
| 0:59:29 | 5-2-1-6 ページです。こちらは安山岩の斜長石を対象にカリウムアルゴンを実施した結果を載せてあります。 |
| 0:59:40 | 深度も書いてありまして今これは朝以前に載せてございます年代としては |
| 0:59:48 | 同じか、少し古くなっていくような傾向が見られるといった結果であります。以上です。 |
| 1:00:39 | はい、ありがとうございます。 |
| 1:00:41 | ちょっと見ておつても、 |
| 1:00:57 | ここのアルバイト化しているところ。 |
| 1:01:00 | ここから |
| 1:01:02 | こう使ってくるとか出てきたら、何か。 |
| 1:01:05 | いいなと思うんですけど、そうすか。 |
| 1:01:12 | はい。 |
| 1:01:33 | 申請仲良くなってしまうても、特になければ、 |
| 1:01:40 | します。 |
| 1:01:52 | そうそうそう。 |
| 1:01:54 | これもされている箇所について、 |
| 1:02:00 | こちら、 |
| 1:02:05 | そう。 |
| 1:02:11 | ただ、 |
| 1:02:17 | はい。 |
| 1:02:23 | これは 4。 |
| 1:02:29 | 選ばなくてもいいような |
| 1:02:31 | これを壁厚かもしれない。 |
| 1:02:34 | それから、どうぞ。 |
| 1:02:46 | グラフの④のところは、 |
| 1:02:51 | はい。 |
| 1:02:57 | 駄目です。 |
| 1:03:09 | 各種ナイトウですけど確認なんだけど、計算は何で後期更新世以降の活動は認められないとしてるんですか。 |
| 1:03:19 | じゃあ、 |
| 1:03:22 | はい。 |
| 1:03:24 | 御陸電力のタカザワですけども、 |
| 1:03:26 | この連携がの資料で言いますと、ページで言いますと、 |
| 1:03:33 | 計算カラー |

| | |
|---------|--|
| 1:03:39 | そうですね。 |
| 1:03:41 | 102 ページからが計算の撃つ脈法による評価ということになるんですけども。 |
| 1:03:49 | 実際のちよっと評価を言いますと、中見ていただいて 107 ページのほうがわかりやすくですね。 |
| 1:03:58 | もう計算につきましては、左側に示すように、ボーリングの浅部の露頭においても、深部のボーリングにおいても、今回 4 本深部ボーリングを掘っておりますけども、いずれも計算については左のように固結した細部 |
| 1:04:15 | さらなるという状況が確認できまして、やっぱこれについては明瞭なせん断面がその中に認められないという状況でございます。 |
| 1:04:25 | それを踏まえると、下に矢印で考察ということで書いてありますけども、計算については増えてきた際部のみから成って直線性連続性の平面構造が認められないことから、閉鎖についてはまず固結した破碎部系成功の活動はないというふうに考えてございます。 |
| 1:04:43 | 一方、右側が計算と走向傾斜が同じK2 の状況を示しておりますけども、経費についても周りには固結した破碎部が景観と同じように見られますけれどもについてはさらにそれを壊して中に粘土鉱物の最新ゾーンはできていると。 |
| 1:05:02 | いうことで、その最新ゾーンを代わるCTがオダしているということで、 |
| 1:05:08 | 個別下細部以降に活動があつて、それはそれでしっかりとまってるのは層厚傾斜が同じ、近接している経費で確認できていると固結した破碎部の性状というのはこれまで何度かを説明してましてすべと正断層で同じような状況がいずれのPARにも確認されるということから、 |
| 1:05:28 | 経過については、その少なくとも来K2 の鉱物脈のパールCTができた以前にはもう活動がなくなっているというふうに判断しまして計算については活動性がないというふうな評価をしてございます。 |
| 1:05:47 | これが主たる評価ということで雇わ 108 ページ以降で少し、これ前回の審査会で指摘ございましたA3 の破碎流動系ですね、流動状に見える構造っていうのは、どういふような条件管理できてるんだということで、それについても、 |
| 1:06:07 | 108 から順番に検討してございまして、この破碎流動っていうのが、例えば 109 ページなんですけども。 |
| 1:06:17 | 古紙こいうふうな下の直交 2 枚写真見ていただくと壊されているように見えます。これが文献見ますと、いわゆる破壊立米言われてございまして地下深部でできるような構造で、現環境下で形成されるようなものではないというふうな記載もございまして、 |
| 1:06:35 | そういう直接的な観点からも計算については活動性がないというので、これについては補足的な位置付けですけども、そういうふうな形で計算については活動性を評価していると。 |

| | |
|---------|--|
| 1:06:48 | いうので、先ほどの 102 ページにはその概要ということに記載してございます。 |
| 1:06:55 | 以上です。 |
| 1:07:12 | こちらはない。 |
| 1:07:16 | 竹島ですけども、※7 の後期更新世以降の活動とされないって書いてるから。 |
| 1:07:23 | 多分これ関電さんの質問を引っ張ってきてたけど、 |
| 1:07:26 | 余計わかんなくなっちゃうと思う。 |
| 1:07:30 | 要は系 2 統計算を比べたときに、 |
| 1:07:35 | 固結した破碎部の性状は同じような問題だって同じ時期にできたと考えれば 経理はそのあとRCPからできているもので/RCTの生成年代を考えれば、 |
| 1:07:54 | 警備よりももうオファーができたよりも古いと考えられるってそういうふうに構成 をしている。 |
| 1:08:02 | GOTHIC電力のタカザワですけど。はい、そういう論理構成をしてございま す。 |
| 1:08:18 | あとこれ総合評価残ってみんな後期更新世、少なくとも後期更新世以降の活 動性を認められない。 |
| 1:08:26 | 後期更新世以降の活動は認められないという形で書いてあるんだけどという 文書を少なくともって形で入ってるんだけど、いついつ以降だと考えておりま す。 |
| 1:08:37 | これ、 |
| 1:08:38 | もう北陸電力のタカザワですけども、それぞれいつ移行というのはちょっと変 質鉱物のところに、 |
| 1:08:46 | 書いてありまして、例えば、前回のCDOで言いますと 46 ページになります。 |
| 1:09:01 | 46 ページの左下ですね、生成年代の評価という項目の比較書きがありますけ ども、3 丸めですね。 |
| 1:09:11 | 例えばこれ地下深部の例ですけども、この深度 800 メーターということで精 製したこういう変質鉱物について、現在TiO付近で確認されることからこれに すごい高の隆起速度を用いてそれを一定と仮定すれば、 |
| 1:09:29 | 6Ma以前と認められ、 |
| 1:09:32 | あくまでも隆起速度は後期更新世以降の利益速度を用いておりますのでここ で用いて隆起速度が後期更新世以降ということでねらくにわかんのは、少なく とも後期更新世以降ではないというふうな形で評価しておりまして、 |

| | |
|---------|--|
| 1:09:48 | 単純な計算では 6Maとか、例えば熱水活動やれば 9Maっていうふうなこと値があるんですけども最終的に用いてる過程がありますので、今回はいずれも少なくとも後期更新世以降ではないと。 |
| 1:10:03 | いうふうな形で評価してございます。 |
| 1:10:08 | 以上です。 |
| 1:10:35 | そう。 |
| 1:10:37 | さっき、 |
| 1:10:42 | 確保、 |
| 1:10:43 | はい。 |
| 1:11:05 | 規制庁ナイトウですけれども、ここはね、ちょっときちんと発揮。 |
| 1:11:09 | 回答欲しいんだけど。 |
| 1:11:11 | 例えば/RCPのものについては、/RCTの脈が最新面を横断をしているので、RCP脈の生成以降を活動性がないと。 |
| 1:11:25 | 判断するとね。 |
| 1:11:27 | その上で、/RCT脈の生成についてはこうこうこういう考え方でいつごろと考えているわけね。 |
| 1:11:37 | それからを合わせると、 |
| 1:11:40 | 後期更新世以降の活動性がない。 |
| 1:11:43 | なんじゃないんだって皆ローリー構成としては、 |
| 1:11:47 | 論理構成として遅れのタカザワですけれども論理構成としては、その通りで少し差異は省略し過ぎて、わかりにくかったので、そこはそういうふうな新しい表現すると、今ナイトウさんがおっしゃったことなので、 |
| 1:12:01 | それはそういうふうな形で修正していきたいというふうに思います。はいお願いしますでそういうふうに構成区と計算でどういう説明があるかも 1 回教えてもらっていいですか。 |
| 1:12:20 | 計算北陸電力のタカザワですけども、計算につきましてはさっき出た経緯がbarCT以降の活動がないって言った上で計算についてはK2 と同じ固結した破砕部が認められて、 |
| 1:12:36 | それ以降の活動はないと。 |
| 1:12:40 | 一方を件についてはそれ以降の活動があって、それが終わるCT止まっているから閉鎖についても、少なくともその新しいテナント使ってRCTについて後期更新世以降の活動がないから経過についても、 |
| 1:12:56 | 少なくとも後期更新世以降の活動はないというふうな形で、そういうふうな、ちょっと文章案までお越しくなりますけどもそういうふうな |
| 1:13:05 | 機械に近くなるのかなと思います。はい。以上です。 |

| | |
|---------|---|
| 1:13:14 | 規制庁ナイトウですけれども、系は固結した以降に活動成果があったと評価して計算は固結以降活動性がないと評価して、それは何をもって差別化できている。 |
| 1:13:31 | 北陸電力のタカザワですけれども、それは先ほど 107 ページで示しました。計算については固結した破碎部を壊して粘土鉱物ができて、面構造がそもそもなくて、 |
| 1:13:47 | 粘土鉱物が精製されてないということは、個別した細部以降の活動はないというふうに考えてございます。 |
| 1:13:55 | 一方OKにつきましては個別した破碎部を壊して、その部分に最新造が認められて、そこに年度があるということで、計については、個別下細部以降の活動があったというふうに考えてございます。 |
| 1:14:12 | 以上です。 |
| 1:14:27 | その辺の話をちょっと変わってないですか。 |
| 1:14:37 | ちょっとこれ大規模施設定期として選んどいて。 |
| 1:14:47 | 代表洞地方かどっちか含めるということだけちょっと。 |
| 1:14:55 | ハマダ的なことをやってる。 |
| 1:14:57 | なるほど。 |
| 1:15:22 | これは目標がありますけど砂層があると思います。 |
| 1:15:49 | はい。 |
| 1:15:51 | はい。 |
| 1:15:52 | 全部押さえそうです。 |
| 1:15:58 | 300 ページでございます。 |
| 1:16:00 | なお、 |
| 1:16:02 | はい。 |
| 1:16:10 | 出ます。 |
| 1:16:11 | はい。 |
| 1:16:13 | はい。 |
| 1:16:16 | 規制庁のサグチですけれども、すみません点だけ教えていただきたいんですけど、さっきから幾つか確認出っていて、 |
| 1:16:25 | 5、その変質鉱物。 |
| 1:16:29 | ですね、IS今後とか置き換わるシートフィリプサイトっていう御社使われてるんですけど、20 前の前回の資料で 21 ページとか 22 ページのこれ、概要のところになっていて、 |
| 1:16:46 | これを見ると、ISS混合槽とそれから一般PTについてはこうこういう理由で、およびその年代値というのが書かれているんですけど。 |

| | |
|---------|--|
| 1:17:01 | フィリップサイトについては特にどれぐらいのね体質とかっていうのは、多分書かれてないと思うんですけどもあったってどうなんですよねっていうのをちょっと |
| 1:17:13 | お聞きしたかったんですけど、フィリップサイト等パルスCTはこれどう面大で考えてよろしいんですか。 |
| 1:17:24 | はい、北陸電力の榎並です。 |
| 1:17:27 | 今 22 ページですね、こちら不論法で説明したいんですけども。 |
| 1:17:34 | 今おっしゃられた部分は今のフローの右側の点線ですね。 |
| 1:17:39 | カリウムアルゴン年代値のあいつ今後相当 |
| 1:17:43 | Tn年代のパールCTでこちらの部分をして指摘されたと思うんですけども、我々の基本的な考え方としましては、文献調査を踏まえて、ある程度年代感を意識した上で、 |
| 1:18:01 | 50 度以上という温度を考えてきて、そこから地温勾配や隆起速度に基づいて年代値を評価しているとメインの流れとしましては、 |
| 1:18:14 | 黒の枠で囲った部分ですね、こちらの評価がメインですのでこの評価に対してですねこの点線のカリウムアルゴンですとか、PLというのは、整合性を確認するという位置付けで使っております。いうことありますので基本的な評価は左側の四角の枠ですね。 |
| 1:18:33 | 地下深部の場合は、6 延命等見積もられて少なくとも後期更新世以降ではないと熱水の場合は、9Ma以前で生成されたと、こちらが評価自体になります。以上です。 |
| 1:18:50 | 考え方サグチですけども、考え方はわかっているんですけど、それを支持するようなものとしては、フィリップサイトについては特になのか、それともバランスシートフィリップサイトは妄想ポンドとかの関係でこれと同様なんですよ。 |
| 1:19:10 | ほかっていうところだけをちょっと教えていただきかったんですけども、 |
| 1:19:21 | 電力ウナミです。 |
| 1:19:25 | フィリップサイトについては、今、直接年代値を示せるようなデータは持ってないということで、is今後相当パールCTだけ記載しているという状況でございます。以上です。 |
| 1:19:38 | はい、サグチです。わかりました。ありがとうございました。 |
| 1:19:45 | クーリングのハマダですけども、先ほどサグチさんの質問の件ですけども、1 撤退年代分析による年代は先ほどウナミが申しましたように二つしかやられてませんけども、フィリップサイト等をRCPは同じような環境でできる鉱物だというふうに |
| 1:20:04 | 考えておりますので、乾固環境としては同じだというふうに思っております。以上です。 |
| 1:20:13 | はいサグチです。そういうことは理解をします。ありがとうございました。 |

| | |
|---------|---|
| 1:20:26 | はい、どうぞ。 |
| 1:20:35 | 特になければ、これでヒアリングを基準にしたいと思いますけどよろしいでしょうか。 |
| 1:20:44 | 事業者さんよろしいですか。 |
| 1:20:46 | 北陸電力布田です。こちらからの確認事項は特にございませんので、 |
| 1:20:52 | 了解いたしました。 |
| 1:20:54 | はい。それではこれでヒアリングを終了したいと思います。ありがとうございました。 |
| 1:20:59 | ありがとうございました。 |